

令和5年度 津久井支援学校 第1回学校運営協議会 議事録

日 時	令和5年5月23日（火） 9時30分～11時30分
場 所	神奈川県立津久井支援学校 2階 会議室
出 席	学校運営協議会委員 9名 事務局 7名
問合せ先	副校長 藤原 英明 電話 042-684-4872（直通）
<p>1 校長挨拶</p> <p>・津久井支援学校は養護学校から支援学校へ名称を変更しました。名前だけでなく、学校をよりよく変えていきたいと思ひます。皆様のご意見を学校運営に役立てていきたいと思ひます。1年間どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>2 会長挨拶・委員自己紹介</p> <p>3 学校目標について 副校長より報告</p> <p>4 各グループ運営計画について 総括教諭より報告</p> <p>5 質疑 ※○＝質疑・回答 ●＝意見・感想</p> <p>グランドデザインの達成状況について</p> <p>〔委員より〕</p> <p>○グランドデザインの目標は4年目になっているが、現在の達成状況について聞きたい。</p> <p>〔事務局より〕</p> <p>○4年間の目標については、達成しつつあるが、今年度の目標については、課題があると感じているため取りあげている。</p> <p>○例えば、ICTについてはコロナ禍以降、普及してきたものの活用の幅としては、工夫の余地が残されている。</p> <p>地域との関わり・支援等について</p> <p>〔委員より〕</p> <p>○学校コンサルテーションについて、地域の支援級とのつながりについて聞きたい。</p> <p>○小規模校としては児童を増やしたいのか、地域の学校で育てて欲しいのか。また、進路指導についても聞きたい。</p>	

[事務局より]

- 近隣の小学校5校に巡回している。
- 学校コンサルテーションとは、支援が必要な児童・生徒に対して、地域の各小・中学校内でも解決できる組織の構築を支援することである。相模原市については、義務教育は地域での学習を基本に「ふさわしい学びの場」を有識者たちによる会議で話し合っている。
- 義務教育については、学びの場を、相模原市が有識者を集め、就学支援委員会で検討している。本校として、人数を増やしたいということではない。
- 高等部について、神奈川県は、高等部知的障害教育部門を希望する生徒全員が入学できるように調整している。
- 進路指導については「本人のニーズや適性に応じた自己選択・自己決定のための授業、進路指導、進路学習等を充実させる。」を具体的な方策として掲げている。

6 校内案内

2グループに分かれ 学部長が校内を案内

7 切れ目ない支援部会・防災部会について

副校長より報告

8 部会の設置について

資料のとおり

9 協議

学校目標について

[委員より]

- 個に応じた指導をしており、とても勉強になった。小学校では、学年を超えた縦割り集団で学習している。そこで、次の3点について聞きたい。
 - ①津久井支援学校での具体的な取組は。
 - ②ICTの学習の具体的な取組は。
 - ③連携支援について、青少年相談センターとの連携とは。
- キャリア教育についての具体的な取組と医療的ケアについて聞きたい。
- 進路指導について聞きたい。
- 高等部から入学したので、それまで支援学校がどんなところかわからなかった。
- 「学校へ行こう週間」等の地域への啓発も大切である。
- 学校評価の取組について評価の観点から次の項目について整理が必要だと感じる。
 - ①ICTを取り入れた学習について、いくつできたら達成なのか

②アンケートは子どもからもとったらどうか

③授業についての（研究と教科会）の取組について

- 「子どもの実態からの視点」と「学習指導要領からの視点」での授業づくりと並行し進めていって欲しい。

[事務局より]

- ①について、中学部と高等部での「からだづくり」や「朝の体育」を一緒に行っている。
図工において、高等部3年生と小学部がお面作りを一緒に行った。
- ②について、学習の様子をビデオに撮って、すぐに振り返られるようにしている。また、プレゼントーションソフトを授業展開に活用している。更に、リモートにより修学旅行先と学校の朝の会をつないだ。
- ③について、相談内容について、情報を共有している。
- 本校は3名が医療的ケアに携わっており、基礎研修の修了者が実施できる。本校では吸引経鼻経管栄養等を行っている。
- 夏季休業中に校内で医療的ケアについて知るための演習等による研修会を行っている。
- キャリア教育については、卒業後自分の力を発揮し、自分らしく生きていくことができるよう、学部間の連結した学びや、経験を積み重ねる取り組みを大切にしている。
- 卒業後の進路選択や決定を目指して、地域の資源を活用していろいろな経験をさせていきたい。

切れ目ない支援部会と防災部会について

- 地域清掃は、定着しているのか参加者も多い。学校の学習に関して、平日に地域の人たちと清掃活動したらスムーズに進むと思うがどうか。
- 学校で実施している避難訓練のあり方について聞きたい。
- 防災研究会を地域に立ち上げたが、参加者が少ない。学校の避難訓練についても、直接頼んで5名の出席にこぎつけた。
- 相模原市の指定では、地域の避難所は小学校になっている。小学校でも先日のゲリラ豪雨について、子どもたちが有事の際にどのように身を守るのかを考えていきたい。

[事務局より]

- 地域とのつながりの実績を生かし、平日の掃除も考えていきたい。
- 防災については、実際に起きた時にどのように対応できるのか（自助）、組織としてどのように情報収集していくのか（教員の動き）に主眼を置いている。

9 校長あいさつ

本日はありがとうございました。貴重な意見をいただきました。避難訓練の真の目的は、子どもたちと教員と命を守ることだと考えています。その中で地域の方が訪れた際には、どのように受け入れるか考えていくということを再認識しました。また、授業改善や授業力向上については、学習指導要領学習会を毎週実施して理解を深めています。次回から教科会等の取組による報告をしたいと思います。

【配付資料】

- ・令和5年度 第1回学校運営協議会 開催要項
- ・令和5年度 学校運営協議会委員名簿
- ・神奈川県立津久井支援学校 グランドデザイン
- ・令和5年度 津久井支援学校 学校評価報告（目標設定）
- ・令和5年度 津久井支援学校 グループ年間運営計画



